

令和2年度第1回寒河江市地域づくり推進委員会（書面開催）の結果について

1. 協議事項・協議結果

4月22日付で書面により開催し、全委員より回答あり。

協議事項及び協議結果は次のとおり。

(1)地域づくり推進委員会委員長の互選について

立松潔委員を委員長とする（全会一致）

(2)令和元年度実施事業のさがえ元気づくりAWARD2019（地域貢献部門賞）への推薦について

2019年度の採択事業は、事業規模が小さい地域よろず応援事業のみであったことなどから推薦団体なし（全会一致）

(3)令和2年度実施事業（地域よろず応援事業）の採択について

全ての申請事業を採択相当とした（全会一致）

[申請事業についての意見]

①鹿島YYG塾（鹿島YYG塾推進委員会）

- ・高齢者だけでなく、子どもたちの居場所という形でも、定着していくのではないかとと思われる。
- ・世代を超え、交流のための多様な事業に取り組んでおられるのは素晴らしいことです。
- ・地域の子どもたちも参加できる催しの開催は評価できる。一方で大人の若い世代の参加を促す企画がほしい。またコロナ禍で人々のつながりを保つ工夫を望みたい。

②ふるさと活性化交流事業（幸生区）

- ・地元地区への愛着を育み、定着すれば、Uターンにもつながっていく交流だと感じる。
- ・帰省客との交流という視点での取り組みが注目される。
- ・幸生小学校が最後の年となる2020年度がコロナ禍となり、工夫した取り組みを今年に行わないと、学校が統合される2021年度につながらないことが心配される。

③寒南音頭で地域づくり推進事業（寒南音頭を広める会）

- ・学童との交流が、地区で子どもたちを見守ることにつながる。
- ・この事業によって寒南音頭の魅力が地域内外に広まり、「広める会」の会員拡大にも結びついていくことを期待したい。
- ・学童保育の子どもたちとの取り組みは評価できる。地域外への発信が課題。

④日田地区交流夏祭り（日田地区体育振興会）

- ・子ども減少の中、にぎわいを見せることで、活気ある地区のイメージがみられる。
- ・日田地区を活動拠点とする団体の交流拡大を通じて、事業がアップグレードしていくことを望みたい。
- ・初回を開催できたことは評価できるが、実際にどの年代がどれぐらいの人数参加したのか知りたい。

⑤「平塩の塩」商品化調査事業（平塩の塩研究会）

- ・世代交流の意味では、まだ十分でないと思うが、今後の商品化や動きで、交流に期待できる。
- ・「平塩の塩」という資源を地域活性化に結びつけようという試みはとてもユニークで、今後の展開が楽しみである。
- ・試行錯誤を粘り強くしていることが評価できる。今後は、特長をどう打ち出し、PRできるか、そして使う側の評価がどうなるか。広がり期待したい。

以上

令和2年度 地域の活力アップ応援事業 地域よろず応援事業 評価シート集計

No.	事業名	交流拡大の効果 (世代間の広がり)	新規性・ 拡充性	今後も継続して事 業を実施すること が見込まれること	ひと・もの文化等 の地域資源を活用 すること	総合評価 (地域の活性化に 資するか)
1	鹿島Y Y G塾 (鹿島Y Y G塾推進委員会)	B	B	B	B	B
		B	B	B	B	B
		A	C	B	B	B
		A	B	A	B	A
2	ふるさと活性化交流事 業 (幸生区)	B	B	B	B	B
		B	B	B	B	B
		A	C	B	A	B
		A	C	B	C	B
3	寒南音頭で地域づくり 推進事業 (寒南音頭を 広める会)	B	B	B	B	B
		B	B	B	B	B
		A	C	B	B	B
		A	B	A	A	A
4	日田地区交流夏祭り (日田地区体育振興会)	B	B	B	B	B
		B	B	B	B	B
		A	B	B	B	B
		A	C	B	C	B
5	「平塩の塩」商品化調 査事業 (平塩の塩研究 会)	B	B	B	B	B
		C	B	B	B	B
		B	A	A	B	A
		B	A	A	A	A

令和2年度 地域の活力アップ応援事業 地域よろず応援事業 評価シート(自由記述)

No.	事業名	備 考 (その他評価できる点等)
1	鹿島YYG塾（鹿島YYG塾推進委員会）	<p>○高齢者だけでなく、子どもたちの居場所という形でも、定着していくのではないかとと思われる。</p> <p>○世代を超え、交流のための多様な事業に取り組んでおられるのは素晴らしいことです。</p> <p>○地域の子どもたちも参加できる催しの開催は評価できる。一方で大人の若い世代の参加を促す企画がほしい。またコロナ禍で人々のつながりを保つ工夫を望みたい。</p>
2	ふるさと活性化交流事業（幸生区）	<p>○地元地区への愛着を育み、定着すれば、Uターンにもつながっていく交流だと感じる。</p> <p>○帰省客との交流という視点での取り組みが注目される。</p> <p>○幸生小学校が最後の年となる2020年度がコロナ禍となり、工夫した取り組みを今年に行わないと、学校が統合される2021年度につながらないことが心配される。</p>
3	寒南音頭で地域づくり推進事業（寒南音頭を広める会）	<p>○学童との交流が、地区で子どもたちを見守ることにつながる。</p> <p>○この事業によって寒南音頭の魅力が地域内外に広まり、「広める会」の会員拡大にも結びついていくことを期待したい。</p> <p>○学童保育の子どもたちとの取り組みは評価できる。地域外への発信が課題。</p>
4	日田地区交流夏祭り（日田地区体育振興会）	<p>○子ども減少の中、にぎわいを見せることで、活気ある地区のイメージがみられる。</p> <p>○日田地区を活動拠点とする団体の交流拡大を通じて、事業がアップグレードしていくことを望みたい。</p> <p>○初回を開催できたことは評価できるが、実際にどの年代がどれぐらいの人数参加したのか知りたい。</p>
5	「平塩の塩」商品化調査事業（平塩の塩研究会）	<p>○世代交流の意味では、まだ十分でないと思うが、今後の商品化や動きで、交流に期待できる。</p> <p>○「平塩の塩」という資源を地域活性化に結びつけようという試みはとてもユニークで、今後の展開が楽しみである。</p> <p>○試行錯誤を粘り強くしていることが評価できる。今後は、特長をどう打ち出し、PRできるか、そして使う側の評価がどうなるか。広がり期待したい。</p>